

2024年度第6回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時：2024年12月8日（日）13:00～18:50

開催場所：静岡県栄養士会事務局およびWeb

出席役員

○出席 ×欠席 ○W WEB出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		フ栄			
氏名	新井	久保田	若林	小栗	大塚	平塚	稲葉	篠原	小川	池谷	森下	白石	青島
出席	○	○	○	○	○	○	○	○	○W	○W	○W	○W	○
職域事業部	フ栄			医療						福祉			
氏名	栗原	山崎	杉山清	太田	渡邊美	渡邊潤	中村	菊地	八木	田森	杉山智	松井	
出席	○W	○	○W	○W	○	○	×	○W	○W	○	○	○	
監事	水嶋	鈴木											
出席	○	○W											

開 会

定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うちWEB参加10名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、会場に来ることが出来ない理事はZOOM（WEB会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB会議）システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第30条第1項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、フリーランス・栄養関連企業等事業部の山崎理事と医療事業部の太田理事が指名された。

1. 会長あいさつ

NHK朝ドラ「おむすび」の主人公が、ようやく栄養士を目指すことを公表し、いよいよ「栄養（士）」がクローズアップされることとなり、朝の時間がよりいっそう楽しみになってきました。私自身、阪神淡路大地震を徳島（学生の時）で体験し、大きく揺れたこと、そして1か月後にたこフェリーで神戸に渡り、阪神高速道路が倒壊したのを目の当たりにし、天災の怖さを肌で感じました。そして復興に向けた活動を通じて人々の繋がり大切さと立ち上がる勇気を持つ、そんな人々の力強さを感じたことを今でも覚えています。あれから数多くの天災が生じ、1年前に生じた能登半島地震や豪雨をはじめ、いまなお苦しんでおられる方々に、お見舞い申し上げます。南海トラフ沖地震が発災した際に、準備してきたことが実践できるのか、準備は完全なのか、自問自答すればするほど、不安が募り、課題も山積みです。県内各地で防災訓練や講習会が行われており、栄養士にもお声がかかるようになってきました。静岡県栄養士会の会員すべてが、自らの職場だけでなく、多くの住民の救いができるよう、日々意識することと、顔が見える関係性を築くことを忘れずに、精進していただきたいと思います。

2. 前回議事録の確認

・2024年度第5回理事会議事録

全会一致で承認された。

3. 代表理事の業務報告

（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

3.1. 新井会長

10月11日（金）	静岡市静岡医師会合同研修会	静岡市静岡医師会館
10月17日（木）	第2回8020推進住民会議	静岡県歯科医師会館
10月23日（水）	地区代表者会議	WEB
10月26日（土）	メディメッセージ	ツインメッセ
10月27日（日）	メディメッセージ	ツインメッセ
10月31日（木）	静岡県地域包括ケアネットワーク会議	グランディエール ブケ トーカイ
11月2日（土）	清庵地区研修会	辻生涯学習会館
11月10日（日）	令和6年度 8020推進・静岡県大会in静岡	グランシップ
11月12日（火）	研究教育事業部運営委員会	WEB
11月12日（火）	委託事業打合せ	WEB

11月20日（水）	静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会	静岡県労政会館
11月28日（木）	三役会議	WEB
12月5日（木）	三役会議	WEB

3.2. 久保田副会長

10月11日（金）	静岡市静岡医師会合同研修会	静岡市静岡医師会館
10月12日（土）	全国栄養改善大会	都市センターホテル
10月14日（月）	循環器病対策県民健康講座	グランシップ
10月20日（日）	栄養CS訪問栄養食事指導運営委員会	静栄事務局
10月22日（火）	栄養CS説明（県主催研修）	グランシップ
10月23日（水）	総務部総会担当委員会	WEB
10月26日（土）	介護予防推進指導者育成研修会	グランシップ
10月26日（土）	メディメッセージ	ツインメッセ
11月10日（日）	栄養ケア・ステーション交流会	あざれあ
11月12日（火）	食べるから繋がる推進事業打合せ	WEB
11月20日（火）	栄養CS説明動画収録（県主催研修会用）	県庁健康増進課
11月21日（木）	第1回糖尿病歯周病医療連携委員会	県歯科医師会館
11月25日（月）	認知症出前講座打合せ	静栄事務局
11月27日（水）	個人情報取扱い点検（委託事業）	静栄事務局
11月27日（水）	日栄「未来の食事」作成要領説明会	WEB
11月28日（木）	三役会議	WEB
12月1日（日）	静岡県訪問リハ人材育成研修会	静岡県労政会館
12月5日（木）	三役会議	WEB
12月8日（日）	広報委員会	静栄事務局

3.3. 若林副会長

10月11日（金）	静岡市静岡医師会合同研修会	Web
10月22日（火）	富士宮市委託事業スイーツで楽しむ地産地消講座試食作成	富士宮市総合福祉会館
10月23日（水）	富士宮市委託事業スイーツで楽しむ地産地消講座	富士宮市総合福祉会館
10月23日（水）	地区代表者会議	WEB
10月26日（土）	介護予防推進指導者育成研修会	グランシップ
10月26日（土）	メディメッセージ	ツインメッセ
11月2日（土）	清庵地区研修会	辻生涯学習会館
11月6日（水）	令和6年度第1回静岡県保険者協議会	静岡県庁 別館9階 特別第1会議室
11月10日（日）	栄養ケア・ステーション交流会	あざれあ第三会議室
11月12日（火）	食べるから繋がる推進事業打合せ	WEB
11月13日（水）	富士・富士宮地区担当者打ち合わせ会	富士市フィランセ
11月19日（火）	地区事業部担当者会議	WEB
11月28日（木）	三役会	WEB
11月30日（土）	富士・富士宮地区勉強会・交流会	富士市フィランセ
12月5日（木）	三役会	Web

4. 報告事項

4.1. 医療事業部（太田理事）

- ・医療事業部理事会開催（2024年11月15日）

1. 次年度研修会について

日時：5月18日（日）もしくは25日（日）

会場：静岡市立病院

内容：GLIM基準導入の実際（講義90分）、演習（90分）

講師：菊地理事、運営委員1名（GLIM基準導入の実際）各45分

太田（演習90分）

2. 医療事業部運営における運営委員の関わりについて

考えられる役割（職務）について共有

従来から運営委員に協力戴いていることが大半だが、明文化して運営委員へ周知予定

4.2. 研究教育事業部（篠原理事）

11月12日（火）研究教育事業部 第1回連絡会議開催（Zoom会議 18時から）

1. 次年度予算申請のための事業について

学び直し講座の内容をリニューアルして2025年度事業として行うこととなった。

内容は基礎栄養学について5講座（詳細は今後検討）

2. 11月のInstagram担当について

3. 2024年度の学び直し講座（3期）は11/14から2025年1/24まで配信。

その後生涯教育の単位認定ならびにアンケートのまとめを行う。

4.3. 福祉事業部（田森理事）

10月20日（日）	栄養ケアマネジメント研修会③ 1名参加	zoom
11月15日（金）	第2回福祉事業部運営会議	zoom
11月17日（日）	eiyou寺子屋③障がい者施設編 5名参加（内 非会員1名）	zoom

4.4. フリーランス・栄養関連企業等事業部(池谷理事)

11/16 ZOOM 8:00~9:00

■次年度事業計画打合せ

・次年度の予算について

・次年度の運営について

今年度からということもあり、次年度の運営については

12月8日に全国リーダー研修会が実施されるため、その状況を見てから決めていく。

今年度の運営委員会は、そのあと実施する

・12/4日 運営会議 次年度の計画について再考

スポーツ栄養研修会実施

特定保健指導研修会は事業部としては実施しない

4.5. 総務部（森下理事）

2025年度定時総会打合せ 10/23 ZOOM会議19:00～

■次年度予算の申請内容

○総会講演会の予算・通信運搬費について昨年よりも備品について減らせる部分があるか

→静栄に足りない備品はリストアップしている。事務局に確認。

○総務部企画調整委員会（運営顕彰・記念事業・保存管理）の予算

- ・今年から総務部として定時総会と顕彰委員会を受け持っているため、4月に総会打合せとして事務局にて会議を行うため、同日に顕彰委員会も行うというのはどうか。

■石川県栄養士会との講演連携可否の確認

→石川県栄養士会から理事の徳丸季聡様（所属：金沢大学附属病院栄養管理部）をご紹介いただきました。（10/30付）

■講師案とテーマの決定

→災害支援の現場対応者としての「現場の声」が反映された情報ができれば。

→世の中に使えるような資料はある。でも活かしていない

→自社施設で使える規約（のベース）やお土産になるような資料を用意できないか

- ・ 前回の「報告」から、今回は「経験を活かす」話をする？
- ・ 他の職域別にどう動いたらいいのか？
- ・ ターゲットを誰にするか（各職域があるため医療・行政・施設）
- ・ 栄養士として何をされたか、また何をしてもらいたかったか
- ・ 具体的なリアルな災害対応エピソード
- ・ 課題はなにか→その後の解決事例
- ・ 災害後のアセスメントについて
- ・ アレルギーの方・年代によって対応に苦慮したことや改善点
- ・ 参考になった資料などはあるか
- ・ 災害を経験後、1年以上経過した今思う事、やっておけばよかったこと、現在進行中事項

○総会テーマについて徳丸様に伺いましたところ下記の回答をいただいています。

テーマについては特にコメントはありません。静岡県栄養士会のテーマに沿って話の内容を工夫します。ディスカッションにおいては、支援側の目線か受援側の目線かは論点がぶれないために明確にしておいた方がよいと思います。

4.6. 研修部（八木理事）

- ・ 9/8（日）会場：あざれあ 3階 生活関連実習室 フリーランス・栄養関連企業等担当

「在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ」研修会

講師：金谷栄養研究所 所長 金谷節子 先生 参加：21名

- ・ 9/15（日）WEB 福祉事業部担当

栄養ケアマネジメント研修会②

1 2024 年度 障害 福祉 サービス 等報酬 ・ 介護報酬改定による変更点・要点

2 栄養ケアマネジメントの基礎

福祉事業部運営委員会 参加：4名

- ・10月27日（日）10:00～12:00 第1回生涯教育担当者会議 WEB 八木出席
生涯教育の受講状況は徐々に減少の傾向にあり、見直しが必要な時期にきている。
基本研修の一部会員無償公開について説明があった。

4.7. 学術部（大塚理事）

栄養士大会について

演題申し込みについては、新井会長を含め8演題の申し込みがあった。（10月25日締め切り）
要旨の締め切りは12月13日（金）、要旨集は1月31日（金）頃にHPへ掲載、参加者へ当日配布する。

12月に会員、賛助会員へ開催案内を郵送、HPへ演題一覧を掲載

4.8. 広報部（渡邊潤理事）

第2回広報委員会

12/8（日）9:30～11:00 静岡県栄養士会栄養士階事務所

協議事項：ホームページ内各職域事業部ページの内容更新について（ほか）

4.9. 地区事業部（稲葉理事）

10月23日（水）地区事業部代表者会議（web）実施

各地区の活動報告、10月4日理事会内容の報告等、別紙参照

11月19日（火）地区事業部運営委員会（web）実施

各地区から提出された2025年度計画書及び予算内容の確認

4.10. 栄養ケア・ステーション部（杉山智理事）

①職業紹介事業

- ・4月以降の新規求人 20件、新規求職者 6名、紹介件数 2件、採用者 2人（離職 1人）
- ・10月30日（水） 職業紹介事業更新に伴う講習 受講 事務局鈴木
「有料職業紹介事業許可証」交付（有効期間：令和11年10月31日）

②栄養ケア・ステーション事業

- ・栄養ケア・ステーション業務依頼件数 194件（2024年4月1日～11月27日）
- ・栄養ケア・ステーション登録者137名（141名登録 ⇒ 4名退会）
- ・認定栄養ケア・ステーション2024年第2期申請（11月15日締切）：本県からの申請は無し
- ・11月10日（日） 栄養ケア・ステーション研修会・交流会 開催
参加者37名
- ・1月19日（日） 第3回訪問栄養食事指導運営委員会 開催予定

4.11. 静栄DAT（中村理事）

11/2（土）伊東市防災訓練参加（池谷理事・戸田知里委員・杉本尚子リーダー）

→9月1日（日）県の防災訓練に参加する予定で準備をしていましたが台風の影響で中止となり

伊東市からの依頼で伊東市職員に向け、広報と演習を実施

4.12. 受託事業

連絡調整会議打合せ

11/12日 池谷・栗原・白石・杉山・新井・久保田・若林 ZOOM 20:00～20:55

4.12.1. 食品表示適正化・活用普及事業

開催時間 10:30-15:00

令和7年 1月10日（金） 袋井会場現

* 栄養士会会員の参加推奨 参加者募集中。

4.12.2. 元気を見つめる外食活用推進事業

・「高校生対象「健康な食事」について考える講座」進捗状況 10講座実施

講座終了 7講座 残り3講座

・ 冊子活用事業不況啓発

市町のイベント等

高校生の講座実施高校

4.12.3. 飲食店向け「健康な食事」事業

県内2カ所 旅館組合に依頼

1月22日（水） 浜松市 呉竹荘 13:00～15:00

4.12.4. 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業

担当者連絡会

10月 4日（金） あざれあ 特別会議室 14:00～16:00

内容： 栄養ケア・ステーション啓発リーフレットの紹介 等

県主催の研修会での講演 栄養ケア・ステーションの周知

11月 20日 令和6年度介護予防事業従事者研修 久保田副会長

関係団体への周知啓発

10月17日 多職種連携会「さてつ」 栗原理事

11月17日 情報交換会 栗原理事

4.12.5. 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業

研修事業

10月26日 静岡会場 参加者 29名

1月11日 沼津会場 令和7年1月11日(土)13時30分から16時30分

場所： 沼津会場 プラサヴェルデ 401会議室

講師 駒沢女子大学健康栄養学 教授 工藤美香先生

病院から退院後の個別支援や地域包括ケアシステムや介護保険制度など

事例発表 同大学健康栄養相談室（栄養ケア・ステーション）藤田里栄子 氏

11月現在 申込者は 18名です 会員に参加の周知をお願いします。

管理栄養士が市町等の通いの場で活動する取組の支援

通いの場依頼数（11/28日現在） 25件

通いの場の資料作成予定

4.12.6. しずおか健幸惣菜パートナー運営事務局業務

8月27日契約 契約満了 3月15日

登録パートナー進捗状況 158社中

- ・報告済み 155社（昨年度の報告書様式であったため再提出待ち33社含む）
- ・報告なし 1社（対応待ち）
- ・連絡つかない 2社

4.12.7. 富士宮市フードバレー推進協議会委託

スイーツを楽しむ地産地消講座 10月23日に開催 参加者市民20名

今年度委託事業終了

5. 協議事項

5.1. 年度事業計画、予算編成について（若林事業部長、久保田総務部長）

5.1.1. 事業計画について（若林事業部長）

- 予算書の書式や内容の不備が目立っていた。
「年度」の表記や、人数が不明など
研修会の開催詳細（午前、午後、コマ数、Web・対面）等
- 申請書類のみでメールの本文に必要事項（予算の変更、事業内容等）が記載されていたのは2件ほどであった。
- 研修部は、各研修会の日程が被ったりしないように「交通整理」をする。

【公1事業について】

- 委託事業も含まれるが、昨年度と大きく変わらず。
- 栄養ケア・ステーション部
支部運営、他団体への説明の担当者旅費は三役協議のうえ減額予定（半分ほど）
旅費は、認定栄養ケア・ステーションの担当者の費用が含まれない。
医師会へのPR活動する要望があれば、担当者が説明に行くことができる。
- 委託事業は減額傾向になる予想。
- 広報部の備品取り扱いページ作成に関する件は、公1に追加される。
- ロゴ作成費は、公1に追加される。（広報部？）
- 現行の専門部部長へお願い（次年度、担当者への引き継ぎのために）
専門部が何をしているかA4の1枚にまとめてほしい。箇条書きで良い。
おおまかな年間スケジュール（任期2年分）も作成する。
引き継ぎの際にマニュアルにすることと、他の理事へ何をやっているのか理解を
してもらうため

【公2事業について】

- 全国研修会への参加負担金（参加費）について、どのように考えたら良いか。
事業部により参加負担金を申請している部と、申請していない部がある。
代表者1名の日当は、基本的には日栄より支払われる。
全国リーダー研修会は対面からWebに移行しつつある。
医療事業部は、全国リーダー研修および地区リーダー研修がある。

- 全国、地区リーダー研修会は参加負担金がなく、日当のみ予算申請。
- 全国研修会の参加費は、自己負担にし、運営費から日当を出した。
学校事業部は、全国リーダー研修会は参加必須にして、日当を出す予定。
- ZOOMで実施する話があるが、現地参加なのか確定ではないため旅費申請している。
- 東京までの旅費を見直す
公衆衛生事業部は、全国研修会はZOOMで実施しており、参加負担金を申請している。
研究教育事業部は、全国リーダー研修会は日栄で負担しているため参加負担金がない。
福祉事業部は、全国リーダー研修会はZOOMで実施しており、日栄で負担しているため参加負担金がなく申請していない。
フリーランス栄養関連企業等事業部は、2つの事業部が統合されたため、2名分申請している。
- 2月にも負担金のある研修会が予定されているが、運営費予算内で流用？
- 全国リーダー研修会は、部長の1名分は日当が負担される。
- 全国研修会は、参加対象者は部長ではなく一般会員も参加可能。フリーランス以外の栄養士も参加可能。参加費負担は適切ではない。
今まで自己負担で参加しているのであれば、申請してほしい。
- ただし、今後は参加するルールづくりはするべき。
- 参加者が、事業部内で周知共有をしてもらうことも検討する必要がある。
- 日栄から参加勧奨がある全国研修会の参加費負担は行わない。
- 日栄主催の事業部の会議と研修会は代表者だけは仕方がない場合もあるが、参加する人に対してすべて参加費は出せない。
- 公2事業は予算には収まっているが、会員数減に伴い赤字となる。
- 総務部賃借料は未確定（黄色セル）
- 寺子屋は理事3名にて運営する
福祉事業部だけの集客対策（FAX送信）は行わない
全ての事業部に関係するので方法を検討する。
- 1月の理事会で確定する。

5.1.2. 予算の編成について（久保田総務部長）

- 栄養士のロゴを作成したい。
デザイン業者に依頼する予定
ロゴ作成後は、商標登録をする。商標登録費用もかかる。
- 広報部の予算を追加する予定（HP：備品貸出に関するページ作成）

5.2. 総務部（森下理事）

・総会当日の役割分担と進行シナリオについて→総会担当に一任でよろしいでしょうか。

- 承認（総務部一任）。基本は役員全員参加で役割分担を決定
- 改めて理事へ「出席確認」の連絡をする

5.3. 地区事業部（稲葉理事）

・地区事業部2025年度予算 地区研修、交流会、イベント、ブロック研修「担当旅費」等の運用
ルール作成について

各地区から出された担当旅費の内容が統一していない状況や研修会出席者の半数近くに旅費を支出している地区などコスト面での課題もあることから今後コストを考えたルールを決めてほしいと事務局からの提案もいただいた。

そこで例えば、支払う人数や回数の上限など、支出できる金額を決めるなど運用ルールの作成について、事務局、三役と地区事業部理事で検討していくことについて協議いただきたい。

- 西部は研修会で日当旅費支払い。（当日打合せ含む）
- 中部、東部は研修会のみ実施？（打合せは別日にWebで開催/打合せは日当のみ支払）
- 9地区あるが、それぞれの地区の特性によって臨機応変に対応している。
理想は、運営委員会を年2回開催し、地区が活性化してほしい。
統一ルールを作成すると、身動きができない地区もできてしまう懸念もある。

意見交換

- 地区運営委員の役割や期待することなどを各地区ごとの申し送りだと内容の差が生まれてしまっているため、統一し文章化した規定を作成する必要があるのではないか。
- 運営委員の人数は適切か。
代表者、会計を含めて5名くらいが妥当ではないか。できれば理事は入らないほうが望まし

い。

各地区人手が足りないといった声もあり、同じ方が長年運営委員を務めている。運営委員会は、すべてZOOMでもいいのでは。

運営委員会は、研修会当日でもいいのでは。

- 当日の終わりに、少しの時間をとって話し合いをするだけなのは、どうか。
- 2時間くらい時間をとってしっかり話し合っているところとの温度差が気になる。
会場設営、受付、講師接待等々しっかりと役割を全うして日当を受け取る方もいれば、遅れて到着して会場設営を少し手伝うなどして日当を受け取る方もいる？役割を計画的に分担し、必要最低限の人数で研修会を運営することが重要ではないか。
- 手伝いをしてくれた人への「旅費日当」を支払えるように検討をする。
- 次年度予算は、1月の理事会で確定する。運営委員の旅費について修正するかどうか。
- 今期まだ申請していないところは、12月18日までに修正申請してほしい。
地区数が、「9」だが見直す必要はあるのでは。
- 次年度中（2025年度）に、見直す検討を行う予定。
- 事前に地区代表者会議で検討を進めたい
- 代表者の想いを再確認したい。
「ブロック」「地区」の存在意義を改めて理解が必要なのでは。
- どちらも研修会・交流会が行われていると、混乱するのでは。
- 「ブロック研修会」は、地区ではできない予算で行う研修会などが行えるようにする。地区は20名規模、ブロックは50名規模の想定。

5.4. 栄養ケア・ステーション部(杉山智理事)

- ・2025年度 特定保健指導研修会の提案について
栄養ケア・ステーションの依頼元より特定保健指導研修会の実施について問われることがあり、研修会開催の必要性を感じ、栄養ケア・ステーション部より提案した。
ただし、栄養ケア・ステーション事業（公1事業）予算には計上できず、研修部に委ねた。
研修会は栄養ケア・ステーション登録者だけではなく、会員（非会員）対象と思われる。
研修会の計画・実施と、その担当について協議いただきたい。

- ・「日本人の食事摂取基準（2025年版）」研修会について
登録者に必要な研修と考えるが、栄養ケア・ステーションからは提案できていない。
本研修会開催の必要性について協議いただきたい。

- 研修会の企画にあたり、どこが企画をするのか。
従来は、各職域事業部より意見を集約し、研修部で取りまとめていた。
今後は、職域事業部が主体となって研修会を主催する。
研修会の企画についてマニュアル等、明文化していく必要があるのではないかな。
- 日栄主催で特定保健指導研修会が行われている。
次年度、静栄主催の特定保健指導研修会は行わない。
日栄の研修会を案内する記事を作成するのはいいのではないかな。

5.5. 学術（県民フォーラム）（青島理事）

令和7年度県民フォーラムの内容・実施場所等について

- 開催目的を改めて認識合わせ
多くの県民に、栄養士および管理栄養士への興味関心を高めること。
- テーマについて理事の意見
スポーツ栄養13名、口腔と栄養3名
案①：歯科医師と研究教育の先生による口腔と栄養
 - テーマが連続している
 - 口腔の対象は全ての年齢。広く県民へ広められる開催目的に合わせて。
 - フリーランスでもスポーツをテーマにした研修会を行っている
 - フリーランスのスポーツは、一般県民向けではなく、会員向けの内容にする。
案②：スポーツ栄養士と栄養教諭の合同企画
案③：スポーツ栄養士と健康運動指導士などとのコラボ企画
案④：スポーツ栄養（子ども対象）
案⑤：スポーツ栄養（その他）選手が実際に食べている食品など

【意見交換】

- 県民フォーラムの集客は、学術部が中心となって、静栄関係者全員で行う
- 専門職でなく県民の参加を促せるよう、広報（集客方法）について検討すべきである。学校に広報するとか？
- 3回連続開催してみて、統計結果を見てみては
- テーマは、柔らかく見直したほうがいいのかでは
- 多数決で圧倒的多数がスポーツ栄養であったこと、朝ドラでもスポーツと栄養が少し話題となっており、それらも踏まえてテーマを決めたほうが良いのでは。

- スポーツ、口腔に関わらず、こどもが参加しやすいようなテーマは明るい雰囲気が良い。
- 歯科医師は歯科ネットワークを介して連絡をとる。
歯科の先生からも栄養士のPRもしてもらえるのか
- ミニトマト等、誤嚥事故を防ぐための内容もあったらよいのでは。でもそのまま伝えると恐怖を煽るような内容は避けたい。
- 三島市の公会堂は、健康器具等を踊り場に設置
- スポーツ栄養以外では人集めができない？
- 参加者を増やしていく策を役員で考える必要があるのではないか。

令和7年度の県民フォーラムのテーマは継続審議とし、1月の理事会で決定することとした。

5.6. 受託事業

5.6.1. 令和6年度管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業チラシ

を12月の発送にいい参加者が18名と大変少ないため

周知呼びかけをしたい。

令和7年1月11日(土)13時30分から16時30分

場所： 沼津会場 プラサヴェルデ 401会議室

- 12月18日の発送に同梱する。
ただし参加申込期限は12月25日まで。
ホームページおよびメルマガでも周知する。

5.7. その他

5.7.1. 東海整備(株) 災害時の建物使用に関するお願いと災害マニュアルなどの情報共有について

県内発災の場合、

- ・事務局に多くの人の出入りすることの許可
- ・支援物資の一時保管場所共有可否
- ・災害時の電源などマニュアルの有無について協議・交渉が可能か東海整備に打診した。

東海整備側からはどのような状態になったら使用するか、期間など、実際に東海整備(株)の役員が面談に応じてくださるとの回答をいただいた。

日程調整の前に理事の意見を伺いたい。

- 発災した際は事務局が災害対策本部となるが、マニュアルは存在しない。

- 石川県の事例としては、認定ケアステーションの事業所を流通拠点としてうまく回していた。（石川県栄養士会の場合は事務局の被害はなかった。県庁の中に事務局があり、3部屋使っていた。）
- 静栄の場合は人材と物資の両方を事務所に置くこととなるが、事務所面積的には厳しい。
- 発災時の対応（ライフライン途絶時の対応、物資の置場等々）を東海整備㈱と協議する。物資の受取、4階は無理だろう。
栄養士会単独での発災時対応ではなく、県との連携を協議しておいた方が良い。

5.7.2. 未来に残すべき和食“日本人の伝統的な食文化”を持続可能な“The Future 50 Foods（未来の食材50）”とともに継承プロジェクトの協力について

資料参照

【内容】「未来の食材50」を使用した「未来に残すべき和食」を、別添『未来の食事』作成要領により各都道府県栄養士会が1食分の献立を作成し、大阪関西万博において公表・展示する

1) 展示期間 : 2025 年8月3日(日)～8月9日(土) (予定)

2) 展示場所 : 大阪・関西万博 大阪ヘルスパビリオン内「デモ・キッチン」エリア
〔大阪 夢洲(ゆめしま)〕

【作成の手順】

①地域で継承していきたい郷土料理・伝統料理を選び、「未来の食材50」とつなげて食事の献立を作成

②2種類の写真

1) 「未来に残すべき和食」としての郷土料理・伝統料理1品の写真

2) 1)を含む「未来の食事」としての1食分の写真

③主となる料理を盛り付ける食器は可能な限りメラミン等軽量の食器を使用し、2つ分を購入し日本栄養士会宛送付

【提出期限】 2025 年 1 月15日(水)

各県で1食分の献立（和食、フードモデルを展示）を提出となるため、本県は、茶そば、海苔、桜えびのかき揚げ、わさび、大根おろし、マグロの山かけ、みかんの献立とする。
（そば、海苔、大根はThe Future 50 Foodsの食材）

- フードモデルは、茶そば・海苔・桜えびかき揚げ・大根おろし・わさびを平皿に盛り付けて1品とする。

- 栄養素量は以下の範囲内に納める
(584～876kcal) P/E比：13-20% F/E比：20-30%
塩相当量 967mg (2.5g) 上限1160mg (3.0g) 730kcal
ナトリウム/食

- 作成予算は、¥15,000円（ワークシート作成に関する経費、食材料費、食器・食具等）
- 作成担当者 様式1、2、3（献立作成、栄養価計算）：篠原理事
様式4（調理、写真撮影、食器手配）：田森理事

5.7.3. 削除

前述（8.2.3）と重複するので、5.7.3は削除する。

6. 承認事項

6.1. 新入会員の承認について（久保田総務部長）

- 承認された
- 会員は、1369名
- 会費未納は、55名

6.2. 研究教育 WEB学び直し講座 ホームページ作成業務外注について（篠原理事）

WEB学び直し講座（第3期）について、動画をVimeoという動画プラットフォームにアップし、Wordpress上でリンクURLを挿入し受講ページを作成していたが、Vimeoの仕様が昨年までとは異なり、従来法では視聴時に動画のURLが取得できてしまうことがわかった。

対策として、ホームページに直接動画を埋め込むことにしたが、技術的に難しい作業となるため、EL think社に業務を依頼した。今年度は新規動画の数が3件で、講師謝金が予算を下回るため、作業代として税込み1万円をEL think社に支払いたい。EL think社の代表は山崎理事であり、利益相反取引にあたるため、特別利害関係者である山崎理事を除いて承認いただきたい。

予算 講師謝金50,000円、打合せ日当15,400円、Vimeo契約14,400円

執行状況 新規動画3件 30,000円、Vimeo契約15,840円、打合せ日当 支払予定

- 承認された。ただし、山崎理事は特別利害関係を有するので、議決権を行使せず、定足数にも参入しなかった。

6.3. 研修部

- ・2024年度研修会予定一覧表

6.4. 栄養ケア・ステーション部

- ・職業紹介事業、求職登録の有効期限の設置

現在、求職登録に有効期限を設けていないが、「有効期限2年」とする。

理由：労働局の定期指導の際の助言

職業紹介事業の書類保管期間は2年であることから、2年以上前に求職登録した者の書類の保管を避ける為、有効期限を設けることについて提案があった。

再度、求職登録をすることで求職を継続することは可能

※これまでも、2年に1度は求職継続について意思確認の連絡をしているので対応の変更は無
求職の「有効期限2年」の明示について承認いただきたい。

- 有効期限2年間で承認された。

7. 連絡事項

7.1. 会員への通知発送について

○12月8日（日）第6回理事会後、次年度会費納入依頼通知の発送を予定（18日以降に発送）

- ・会費納入および新入会員勧誘のお願い
- ・2025年度 会員専用ページのパスワードのご案内（新入会用）
- ・栄養士大会案内チラシ

- ・味の素 食と健康セミナー

○原稿締切 12月12日(木)厳守でお願いします。

味の素 チラシ封入予定

- 2025年度会費納入および新入会員勧誘のお願い（一部内容変更）

見出し一部フォント変更、コロナに関する文言削除

今後、栄養士会員のメリットを記載できるようにしていきたい。

- 栄養士大会案内チラシ内容について

誤：青島 千恵【フリーランス・栄養関連企業等】NPO法人JYUNSHIN SPORTS CLUB

正：青島 千恵【フリーランス・栄養関連企業等】NPO法人JUNSHIN SPORTS CLUB

新井会長の演題の修正

7.2. 新入会員勧誘について

- ・12月に養成施設担当者、栄養関係業務あてに入会案内と申込書を送付予定

8. 確認事項

8.1. 行事日程の確認について

8.2. その他

8.2.1. 備品の取り扱いについて(広報部)

- 静栄の事務局には、備品がある。
しかし、活用されていない。
- 備品が活用するための運用するルールなどが必要
- 運用ルールができれば、掲載するためのページ作成をしたい
掲載するために必要な費用を見積もり作成依頼をする。
もし作成するなら他の活用方法も検討できたらより良い。

8.2.2. 広報部によるSNS投稿およびHP更新について

- SNS投稿は、順調に進んでおり、各理事へご協力に感謝。
- HPの各職域事業部の説明ページは、説明文を更新していただきたい。

8.2.3. 研修の企画立案について (フリーランス 池谷理事)

- フリーランス栄養関連事業部に関係する研修となる場合は、フリーランス栄養関連事業部は対象が広いので、事業計画提出後に研修会を企画する場合は、担当事業部のほうへ事前に相談戴きたい。
- 10月の理事会で、方向性を取りまとめる。
- 12月の理事会で、内容や予算等を考慮して検討する。

本日のZOOM（WEB会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

新井 英一

久保田 美保子

若林 恭子

小栗 美樹子

大塚 美和子

平塚 歩実

稲葉 由美

篠原 啓子

小川 ももこ(WEB)

池谷 広美(WEB)

森下 知代(WEB)

白石 明子(WEB)

青島 千恵

栗原 理江(WEB)

山崎 靖晃

杉山 清子(WEB)

太田 紘之(WEB)

渡邊 美子

渡邊 潤

菊地 しおり(WEB)

八木 佳子(WEB)

田森 稔浩

杉山 智子

松井 温子

出席監事

水嶋 美穂子

鈴木 恭子(WEB)

議事録作成者

山崎 靖晃

議事録作成者

太田 紘之

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2024年12月8日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 

副会長 久保田 美保子 

副会長 若林 恭子 

監事 水嶋 美穂子 

監事 鈴木 恭子 



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

CHICAGO, ILL.

1964



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

